

熊野学区まちづくり推進委員会

委員長 田中 光洋

（問合せ先） 084-959-0001（熊野公民館）

事業内容

- （1）まちづくりふれあい講座（通年）
- （2）環境・健康事業（通年）
- （3）地域資源保全活用事業（通年）
- （4）山田の里農園運営事業（通年）
- （5）防災避難訓練（11月22日）
- （6）とんど祭り（1月10日）
- （7）まちづくり推進委員会運営事業（通年）



環境・健康事業（花・野菜の無料配布）



地域資源保全活用事業
（一乗山城址整備作業）



山田の里農園運営事業
（5年生児童による稲刈り）



防災避難訓練
（簡易ベッドの取扱い）

成果

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業を中止せざるを得ない状況の中で、民主団体や地域住民の協力を得ながら地域の活性化に向け事業を実施した。

課題

コロナ禍で計画した事業を実施できませんでした。少子高齢化の進行の中、従来の行事の維持・伝統行事の継承ができなくなる危機にある。

課題解決にむけて

高齢化に合った行事の見直し、中堅若手の人材発掘・育成が喫緊の課題である。中長期の熊野町のビジョンをチーム熊野で考え、町民みんなで危機感を共有する。

耕作放棄地の解消と活用の取組

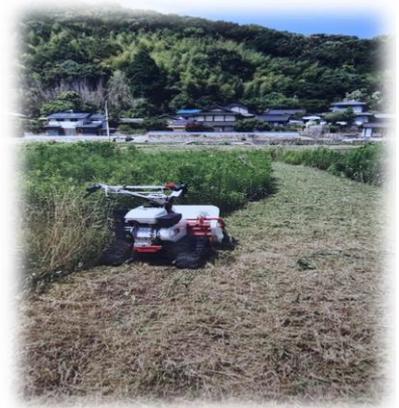
少子高齢化・人口減少が進行し、農業の担い手不足の影響で、耕作放棄地が年々増加している状況下、地域活性化事業の一環としてその解消と活用を図るため、ふる里保全事業として桜や梅の苗木を植える事業を行っている。

併せて、この事業は、桜などを植栽・育成・保存し、豊かな自然環境、生活環境を保全することも目的としており、熊野の里を熊野水源池周辺（常国寺・一乗山城址）、池之内や光林寺池周辺とコラボして、“さくら街道”として交流人口を増やす一助と考えている。

新型コロナウイルス感染症が発生し、収束の見えない中で、3密を避けるなど感染防止対策に取り組みながら植栽事業などを行った。

草刈りの様子

〈池之内ふる里保存会〉



桜の植栽の様子

〈光林寺池周辺・さくらの里〉

